

世界各地で活動し、国内外で注目を集める映像作家 荒木悠の美術館初個展開催  
本展新作制作費のためのクラウドファンディング実施

## 荒木悠 LONELY PLANETS

会期：2023年12月9日(土) - 2024年3月31日(日) 十和田市現代美術館



十和田市現代美術館では、2023年12月9日(土) - 2024年3月31日(日)まで、映像作家・荒木悠の美術館での初個展「LONELY PLANETS」を開催します。

日本とアメリカを行き来しながら育った荒木悠は、各地の様々な言語・文化間で起こる誤訳や誤解、オリジナルと複製の関係、それらが表出させる権力構造を、ドキュメンタリー、アニメーションなどの映画や映像作品で、時にユーモラスに表現してきました。

本展のタイトルは、世界的なシェアを誇る老舗旅行ガイドブック「ロンリープラネット」の名前が、ある歌詞の聞き間違いから生まれたことに親近感を覚えた荒木によってつけられました。そこには、青森を旅するように訪ね歩き、本展に登場する人々・風景・モチーフと偶然遭遇した作家の心境が重ねられています。本展ではこれまでのリサーチを経て、作家のテーマを展開した新作の映像作品4点と過去作品3点(予定)を公開します。異なる軌道を描く惑星のように独立した作品の数々は、真冬の十和田で偶発的に接近しあい、一つの天体を展示室に生み出します。

また、本展で初公開となる新作映像作品の制作資金を、クラウドファンディングサービス CAMPFIRE にて募集します。(詳細は3ページ目)

[※展示作品の詳細は11月中旬ごろご案内いたします。](#)

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷(おおたに)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 [press@towadaartcenter.com](mailto:press@towadaartcenter.com) [www.towadaartcenter.com](http://www.towadaartcenter.com)

## 荒木悠（あらかき・ゆう）



撮影：黒田菜月

アーティスト・映画監督。1985年生まれ。2007年ワシントン大学サム・フォックス視覚芸術学部美術学科彫刻専攻卒業。2010年東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修士課程修了。文化の伝播や異文化同士の出会い、またその過程で生じる誤訳や誤解の持つ可能性に強い関心を寄せている。特に、近年の映像インスタレーションでは、歴史上の出来事と空想との狭間に差異を見出し、再現・再演・再生といった表現手法で探究している。主な展覧会と映画祭に、「Memory Palace in Ruins」（台湾現代文化実験場、台北、2023）、「恵比寿映像祭 2023 コミッション・プロジェクト」（東京都写真美術館）、ホームビデオ・プロジェクト「テールズアウト」（大阪中之島美術館、2022）、第31回マルセイユ国際映画祭（フランス、2021）、「Connections—海を越える憧れ、日本とフランスの150年」（ポーラ美術館、神奈川、2020）、「LE SOUVENIR DU JAPON ニッポンノミヤゲ」（資生堂ギャラリー、東京、2019）、「The Island of the Colorblind」（アートソングェ・センター、ソウル、韓国、2019）、第47回ロッテルダム国際映画祭（オランダ、2018）など。

### 【パブリック・プログラム】

#### アーティスト・トーク

日時：2023年12月9日（土）14:00-15:00

会場：十和田市地域交流センター 大ギャラリー / 料金：無料 ※要企画展チケット / 定員：30名

#### 学芸員によるギャラリートーク

日時：2023年12月16日（土）13:00-14:00 ほか

会場：十和田市現代美術館 企画展示室 / 料金：無料 ※要企画展チケット

#### 映像作品上映会+アーティスト・トーク

日時：2024年3月16日（土）14:00-16:00

会場：未定 / 料金：無料 ※要企画展チケット

※上記の他にも、会期中にパブリック・プログラムを予定しています。詳細は後日発表します。

### 【開催概要】

展覧会名： 荒木悠 LONELY PLANETS

会 期： 2023年12月9日(土) - 2024年3月31日(日)

開館時間： 9:00 - 17:00 (入場は閉館の30分前まで)

休 館 日： 月曜日 (祝日の場合はその翌日)

※その他の休館日、臨時開館日などの情報はwebサイトににてご確認ください

会 場： 十和田市現代美術館

観 覧 料： 一般1800円 (常設展含む) 高校生以下無料

主 催： 十和田市現代美術館

協 力： ベンキュージャパン株式会社、無人島プロダクション

後 援： 青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、エフエム青森、デーリー東北新聞社、東奥日報社、十和田市教育委員会

企 画： 中川千恵子

#### お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

## 荒木悠「LONELY PLANETS」新作制作費のためのクラウドファンディング

募集期間：2023年10月20日（金）－ 11月24日（金）

本展で初公開となる4点の映像作品の制作費のために、クラウドファンディングサイト CAMPFIRE をベースとしたクラウドファンディングを実施いたします。これらの作品は、荒木が青森で出会った人々やモチーフ・風景を捉えながらも、これまでの作家の関心である異文化間で起こる誤訳や誤解、本物(オリジナル)と複製(コピー)を展開させた大きな挑戦となります。

### このプロジェクトで実現したい3つの目標

#### 1. 青森県各地のロケーションやモチーフを取り上げたシーンを各作品に散りばめながらも、様々なバックグラウンドを持つ人に伝わる普遍的な表現を追求する

作家は、十和田市のある南部地方だけでなく、津軽地方や下北半島を計3度訪ね、リサーチを重ねました。青森の景観や風土に着想を得て、これまでの作家活動の根底にある継続したテーマを発展させ展示プランを考案しました。このリサーチによる青森県の歴史・文化が、本展に強く影響を与えていることは間違いありません。同時に荒木は、これらの体験から得たイメージを用いながら、「地域性」だけに留まらない表現として昇華させることを目指します。

#### 2. 日本の近代史や、アメリカなどの諸外国との関係を参照しつつ、コロナ禍を経た現代社会の在り方を照射する

活動開始当初から作家が強く関心を持っているテーマに、異文化間で起こる誤訳や誤解、本物(オリジナル)と複製(コピー)の関係が挙げられます。本展では、東北地方の伝統工芸や、青森を中心とした近代史とそれに関わる外国語に注目した作品を制作する予定です。歴史を紐解く荒木の試みにより、私たちが生きる現代社会の問いかけが生まれます。

#### 3. 映像というメディアを使う展覧会の形式の更新を試みる

映画・映像を媒体に表現活動を行う荒木にとって、カメラが生み出す「見る」と「見られる」の関係性や、それをどのように映し出し、どんな鑑賞体験をもたらすかは非常に重要です。本展では、これまで荒木が実践してきた映像を中心としたインスタレーションを展開することにより、映像作品の展示方法の更新を試みます。

募集期間	2023年10月20日(金)－ 11月24日(金)
支援コース	3,000円コース、20,000円(20口限定)、150,000円(20口限定)
主な返礼品	3,000円／荒木悠と十和田市現代美術館からのお礼のメッセージ 3,000円から／十和田市現代美術館ウェブサイトの展覧会ページにて支援者としてお名前を掲載 20,000円／会期中に出版予定の荒木悠サイン入り作品集、展覧会ご招待メール(2名様まで入場可) 150,000円／荒木悠の新作映像作品のスチル写真1枚(二種類、限定エディション)、展覧会チケットとしてご利用いただける展覧会レセプション招待状(12月9日開催)
目標支援額	2,000,000円(税・手数料など必要経費込み)
実施サイト	CAMPFIRE [ <a href="https://camp-fire.jp/projects/view/701829">https://camp-fire.jp/projects/view/701829</a> ]

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 [press@towadaartcenter.com](mailto:press@towadaartcenter.com) [www.towadaartcenter.com](http://www.towadaartcenter.com)

## 【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

FAX : 0176-20-1138 / E-mail : [press@towadaartcenter.com](mailto:press@towadaartcenter.com)

TEL : 0176-20-1127 / 住所 : 034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

十和田市現代美術館 広報 大谷 行



「荒木悠 LONELY PLANETS」メインビジュアル



《ALMOST DOWN》2012年  
16mm フィルム・インスタレーション



《双殻網：第二幕》2022年  
HDV インスタレーション、撮影：森田兼次  
※参考作品



《The Last Ball》2019年  
3チャンネル・HDビデオ、撮影：加藤健  
※参考作品



《OLI》2013年、木彫  
※参考作品



撮影：黒田菜月



十和田市現代美術館

※ 【1】～【6】の画像をご使用の際は、以下クレジットも添えていただきますようお願いいたします。

画像提供：無人島プロダクション

媒体名 \_\_\_\_\_  
 媒体ジャンル 新聞/雑誌/美術誌/テレビ/WEB/その他 ( \_\_\_\_\_ )  
 御社名 \_\_\_\_\_  
 御担当者名 \_\_\_\_\_  
 所在地 〒 \_\_\_\_\_  
 電話 \_\_\_\_\_  
 メールアドレス \_\_\_\_\_

## 【 画像ご使用に際して 】

- クレジットは全て明記してください。
- トリミングはご遠慮ください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 [press@towadaartcenter.com](mailto:press@towadaartcenter.com) [www.towadaartcenter.com](http://www.towadaartcenter.com)